

グローバル企業への変革



白倉 三徳 (しらくら みつのり)
富士電機機器制御株式会社
取締役社長

2008年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

私ども富士電機機器制御株式会社は、富士電機グループの中核事業会社として受配電機器や開閉制御機器、駆動制御機器など工場のFAラインやインテリジェントビルなどの運転や安全を支えるコンポーネント機器、システム製品を提供しています。そして、富士電機80余年の歴史の中で培ってきた高い技術力を背景に、お客様の新たな事業価値創造にお応えするパートナーを目指して事業活動に取り組んでおります。

当社はこれらの事業分野において、「日本を含むアジアでのトップグループ企業を目指す」という基本目標を掲げ、その達成のためにこれまで取り組んできた「グローバル企業への変革」をさらに加速・推進したいと考えています。

(1) グローバルコア技術の開発と製品展開

グローバルに適用できるコア技術開発に集中し、これを各国の市場要件に適合させた新製品を充実させます。またタイムリーな新製品開発を加速し、富士電機のグローバルなブランド価値を高めます。

(2) グローバルな供給販売体制の強化

海外市場の地域性に合った製品供給をきめ細かく行うため、海外販売拠点、流通拠点、製造拠点と本社を同期・連携し、ワールドワイドな販売・サービス体制を確立します。

(3) グローバル標準手法に基づいた永続的な価値提供

IEC規格適合のコントローラ製品に搭載した応用ソフトウェア資産のグローバルな再利用や、グローバル安全規格に適合した機械装置類の安全思想の普及・設計支援活動および安全機器の供給など、お客様のグローバル価値を高める技術開発を推進します。

2007年は、これらの活動を通して、①グローバル対応の新製品開発や機種拡充、②機械装置類安全設計の支援、

安全規格に準拠した製品開発、などにより多くの技術成果を製品に盛り込み市場に送り出すことができました。

機械装置類安全規格対応として、器具分野では1台で世界の各規格に適合する配線用遮断器・漏電遮断器「グローバルツインブレーカ」用外部操作ハンドル、φ22コマンドスイッチシリーズにメカニカル表示機構付非常停止スイッチを開発しました。また駆動制御機器分野では安全規格対応インバータをシリーズ化しました。

システム機器分野では、ユーザビリティを追求したプログラマブル操作表示器「UG40シリーズ」を開発するとともに、コントローラ・表示・ネットワークを一体化し、アプリケーションプログラムをパッケージ内蔵した「@E.Terminal」を系列に加えしました。器具分野では、新型φ16コマンドスイッチシリーズを開発し制御盤の寸法縮小化に寄与しました。また、音声確認スイッチを搭載した都市ガス用火災警報器付および複合型ガス漏れ警報器を開発し、各家庭でのガスの安全利用に貢献しています。駆動制御機器分野では汎用インバータ「FRENIC-MEGA」に速度センサレスベクトル制御機能や速度センサ付きベクトル制御でのサーボロック機能を搭載し制御機能の強化を図りました。また、サーボシステムでは高精度・高速応答で市場の評価が高い「ALPHA5シリーズ」のモータ容量を拡大し、サーボアンプの設置面積も「FALDIC-α」比約70%としました。

制御機器・システムの市況は、国内では緩やかな拡大基調、海外は中国を中心に堅調に推移すると見ています。私どもは、多岐にわたるお客様の要求を的確にとらえた製品・サービスを提供することを通して産業・社会のベストパートナーを目指してまいります。今後ともご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。